

■■ 事業展開の基本的な考え方 ■■

平成 30 年度は「北東アジア経済発展国際会議 (NICE)」と「日露エネルギー・環境対話」を初めて同時開催しました。これにより、北東アジアで注目されるいくつかの潜在可能性が明らかにされるとともに、その課題も浮かび上がってきました。NICE でまず取り上げた朝鮮半島問題では、北朝鮮による非核化の意思が示されながらも、その内容や行程が不明瞭であること、さらには日朝対話が持たれていないことなどが指摘されました。人とモノの自由な移動の問題では、国際的な物流や観光が活発化しつつあるものの、北東アジアにはまだ多くの改善すべき障害が残されていることが指摘されました。日露エネルギー・環境対話では、日ロ間の経済協力の重要性が謳われている一方でエネルギー・環境協力が十分進んでおらず、北東アジアにおける化石燃料のさらなる需要増が予測される中で地球温暖化防止のための効果的な対応策はなかなか現実化しません。

これに加えて、米中貿易摩擦は、貿易の問題を超えた米中間の経済・ハイテク・軍事覇権をめぐる対立・競争に転化しつつあります。米中首脳会談で関税引き上げ競争は当面回避されたとしても、米中間の経済・ハイテク・安全保障摩擦は今後とも形を変えながら続いていくものと思われる。

ERINA としてはこうした状況を踏まえて、北東アジア地域の平和・安定・繁栄に貢献すべく、多くの課題をしっかりと受け止め、それぞれの解決に向けた政策提言に結びつくような活動していかなければならないと考えます。

ERINA は、研究所内外の議論を通じて、平成 31 年度から新たにスタートする『第 4 次中期計画 2019-2023』を策定しました。調査研究、経済交流支援、情報発信の三つの活動を有機的に統合することを軸として、以下の 5 つを基本方針として掲げています。

1. 北東アジアにおけるシンク・アンド・ドゥタンクとしての拠点性の強化
2. 調査研究の深化と政策立案への貢献
3. 経済交流支援と我が国の地方経済振興の推進
4. 情報発信機能の高度化
5. 公益性・効率性の高い組織運営

この中期計画の第 1 期に当たる平成 31 年度は、「調査研究」事業として、北東アジア地域協力の課題と展望に関する様々な分野において国際共同研究を強化するとともに、北東アジア各国経済の分析を着実に進めていきます。

「経済交流・地方経済振興の推進」事業では、北東アジア地域におけるドゥタンクとして質の高いビジネス関連情報の収集・提供やビジネス機会の創出に努めるべく、地方自治体間の国際交流や中小企業の北東アジアビジネス活動を支援・促進し、地方経済の振興を図っていきます。

さらに「情報発信」事業では、収集情報の効果的な発信、魅力的な国際会議、シンポジウム、セミナーの企画、国内外の人的ネットワークの拡大と有効活用などを通じて、ERINA の情報発信機能を高めてまいります。

■■ 事業体系 ■■

A 調査研究

- (1) 北東アジア地域協力の課題と展望
- (2) 北東アジア各国経済の分析

B 経済交流・地方経済振興の推進

- (1) 中小企業ビジネス支援
- (2) 地方国際交流支援
- (3) 国際人材フェア

C 情報発信

- (1) 基本情報の収集・提供
- (2) 事業成果の出版
- (3) 国際会議・セミナーの開催・協力
- (4) 情報発信高度化のための戦略的事業

■■ 事業概要 ■■

A 調査研究

本事業では、北東アジア地域における国際的な協力にかかわるテーマ、および北東アジア各国の経済が直面する課題等についての調査・研究を行う。

前者については、各国が協力することの必要性や意義が高いと思われる分野や項目を選択し、それぞれについて、協力プロセスに横たわる課題の分析、それらの解決策の検討、協力による成果の展望等を行い、政策的含意のある研究成果を目指す。

後者については、各国の経済が直面する問題のうち、北東アジア地域協力に関わる要素が大きいものを選択するなどして、詳細な分析等を行う。同時に、各国経済の現状や最新動向について、定点観測的な情報収集等を行い、ERINAの定期刊行物等を通じて、広く情報提供を行う。

<p>A- (1) 北東アジア地域協力の課題と展望</p>	<p><u>a 北東アジアの経済統合に向けた地域協力</u> 前年度に着手した「朝鮮半島情勢の変化と北東アジア協力」に関する国際共同研究を継続し、研究成果を2020年度に英文書籍の形で出版することを目指す。また、新たな研究テーマを検討・設定し、そのための国際共同研究体制を構築する。</p> <p><u>b パリ協定の下での北東アジアのエネルギー協力</u> 温暖化効果ガス排出削減に貢献しうる、効果的な地域協力のあり方について検討するため、気候変動問題やエネルギー問題に関する国際会議等に参加して、情報収集と人的ネットワークづくりを進める。</p> <p><u>c アジア太平洋地域の経済統合と北東アジア</u> 北東アジア各国が参加する様々な自由貿易協定(FTA)、経済連携協定(EPA)の検討や交渉の進展を考慮しつつ、これらの協定締結による経済効果を、国際貿易に関する有力な経済モデルであるGTAPを用いて分析し、国際会議等で発表する。</p> <p><u>d 北東アジアの知的基盤整備</u> 北東アジアにおける地域経済協力を進めるうえで前提となる実務的な知識や理解を広める方策について検討を深めるため、地域各国の実務者や研究者の参加を得て、国際的研究会を開催する。</p> <p><u>e 北東アジアにおける複合一貫輸送の展開</u> ロシア極東港湾を經由した国際複合一貫輸送ルートの実現・拡大に向けて、大図們江イニシアチブ</p>
-----------------------------------	---

	<p>(GTI)などと協力しながら、具体的な課題を特定・整理する。これらを踏まえて、関係者に解決を促すなどして、経済交流拡大に資することを旨とする。</p> <p><u>f 中国の「一帯一路」戦略の拡大と北東アジア</u></p> <p>日本や韓国が「一帯一路」戦略の対象地域に含まれるようになる可能性を念頭におきつつ、他の地域での同戦略の展開状況等の分析を行い、学会等で発表する。</p> <p><u>g 日中経済協力に関する国際共同研究</u></p> <p>米中対立の下での日中経済協力のあり方等について、吉林大学経済学院との国際共同研究を行い、研究成果を2020年に出版することを旨とする。</p>
<p>A－(2) 北東アジア各国経済の分析</p>	<p><u>a 中国の地域経済と地域政策</u></p> <p>過年度に「ERINA 中国地域経済研究会」において実施してきた「一帯一路」戦略の国内への影響に関する共同研究成果を ERINA 北東アジア研究叢書として出版する。さらに、「一帯一路」の進展とともに変化する地域経済の実態を現地調査等によって把握する。</p> <p><u>b ロシア極東地域の経済発展</u></p> <p>ロシア政府が国家優先課題として進める極東開発に着目し、民間投資誘致促進を目的とした特区制度の進捗状況を把握、分析するなどして、極東開発政策の有効性を検証する。</p> <p><u>c モンゴルの経済発展</u></p> <p>鉱業依存からの多角化を図るうえでの様々な政策シナリオや地域各国との相互作用等について、経済モデルを利用した分析や現地研究者らの参加を得たワークショップでの議論などを通じて研究を進める。</p> <p><u>d 韓国経済システムの研究</u></p> <p>マクロ経済、産業構造、中小企業問題、財政金融、国際貿易・投資、社会福祉などについて、共同研究員らと交えた「韓国経済システム研究会」の中で、多面的に分析を行う。</p> <p><u>e 北朝鮮の変化と北東アジア経済の未来像</u></p> <p>北朝鮮を巡る情勢変化が続く中で、継続的な現地調査に加え、国内外の様々な分野の北朝鮮専門家との交流を拡大しながら、北朝鮮と諸外国との政治・安</p>

	全保障面での関係にも配慮しつつ、北朝鮮経済の変化の動向を把握、分析する。
--	--------------------------------------

B 経済交流・地方経済振興の推進

本事業では、北東アジア地域の市場やプロジェクト等ビジネス関連の最新動向に関する質の高い情報を収集・提供するとともに、地方自治体、経済団体、企業等に対し、経済交流やビジネス機会の提供、またその支援を行うことにより地方経済の振興を推進する。

<p>B- (1) 中小企業ビジネス支援</p>	<p><u>a 中国ビジネス支援</u> 中国東北部を中心に経済、インフラ整備、開発プロジェクト等の動向に関する情報収集・提供を行うとともに、同地域での国際会議への参加や視察団の派遣・受入を通じて人的ネットワークの強化を進める。また、企業の国際見本市・商談会等への出展支援等によりビジネス機会の創出を図る。</p> <p><u>b ロシアビジネス支援</u> 日ロ間の8項目の経済協力プランに係るビジネス案件の進捗状況やロシア極東の市場に関する情報収集・提供を行う。また、「日ロ中堅・中小企業プラットフォーム」等日ロ間の経済交流促進の枠組みを活用し、他団体と連携・協力しながら企業・経済団体の対ロシア経済活動を支援する。</p> <p><u>c 北東アジアビジネス支援</u> 韓国については、「韓日部品素材商談会」や「日本就業博覧会」への日本企業参加支援、モンゴルについては「新潟県対外科学技術交流協会」の技術協力案件への支援・協力を継続して実施することにより両国との経済交流促進を図る。また、黒龍江省で開催予定の「北東アジア国際観光フォーラム」に参加し、北東アジア地域の観光交流に関する情報収集を行う。</p>
<p>B- (2) 地方国際交流支援</p>	<p><u>a 地方国際交流支援</u> ERINA 出捐県や関係経済団体との連携・情報交換を行い、ニーズの把握に努め、情報提供を行うとともに各団体が実施する北東アジア関連のイベントや経済交流事業を支援する。</p>
<p>B- (3) 国際人材フェア</p>	<p><u>a 「国際人材フェア・にいがた 2020」の開催</u> 国内の労働市場の動向や改正入管法による外国人労働者の就労規制の緩和等に留意しながら、新潟県内企業と留学生に対し、採用と就職のマッチングの</p>

	機会を提供し、企業の海外展開・グローバル化の支援と留学生の県内定着を図る。
--	---------------------------------------

C 情報発信

収集情報の効果的な発信、魅力的な国際会議、シンポジウム、セミナーの企画、国内外の人的ネットワークの拡大と有効活用などを通じて、ERINA の情報発信機能を高めることを目標に、企画・広報部が担当する。

<p>C- (1) 基本情報の収集・提供</p>	<p><u>a 図書、新聞、雑誌の収集・管理</u> 北東アジア経済研究および経済交流支援に必要な資料を収集するとともに、収集した資料は一般の閲覧にも供する。</p> <p><u>b ICT を活用した情報発信</u> ICT の動向に対応しながら、ホームページ、メールマガジン、SNS、ブログなどを活用して北東アジア経済の最新情報を提供するとともに、マーケティングオートメーション (MA) を利用した効率性の高い情報発信を行う。</p> <p><u>c 印刷媒体による情報発信</u> ERINA のパンフレットやリーフレット、『ERINA Annual Report』(年次報告書) を発行し、ERINA に対する理解を得るための広報ツールとする。</p> <p><u>d 一般メディアによる情報発信</u> マスメディアへの情報提供、取材対応、寄稿などを通じ、北東アジアの現状や ERINA の活動について広く一般市民の関心を高める。</p>
<p>C- (2) 事業成果の出版</p>	<p><u>a ERINA REPORT (PLUS)</u> 北東アジア経済に関する独自性の高い学術論文に加え、北東アジア経済の最新情報を提供する総合的な情報誌の役割をプラスして、年6回(偶数月の20日)発行する。</p> <p><u>b The Northeast Asian Economic Review</u> 世界中の研究者に研究成果を発表する場を提供し、北東アジア経済に関する国際的な研究の促進と、ERINA の拠点性の強化に寄与するため、英文学術誌を年2回発行する。</p> <p><u>c 北東アジア経済データブック</u> 北東アジア各国経済の動向や基礎データをとりとめ、研究者や経済関係者に有益な情報誌として、年1回発行する(12月予定)。</p> <p><u>d 北東アジア研究叢書</u> ERINA の研究員による研究成果および共同研究による成果などをシリーズで商業出版し、広く社会にア</p>

	<p>ピールする（年1巻刊行予定）。</p> <p><u>e その他出版</u></p> <p>北東アジア経済に関する優れた研究成果を出版する機会を創出し、研究者や研究成果を社会に送り出す。</p>
<p>C-（3）</p> <p>国際会議・セミナーの開催・協力</p>	<p><u>a 北東アジア経済発展国際会議</u></p> <p>北東アジアの社会経済発展をめぐる諸課題と政策方向について議論を深め、関係各国・地方に情報提供と政策提言を行い、多国間・地方間協力を進める。新潟県、新潟市と実行委員会を組織し、2020年2月上旬、朱鷺メッセで開催予定。</p> <p><u>b 日露エネルギー・環境対話</u></p> <p>日露エネルギー・環境協力の主要トピックについて、日ロの関係者が対話を重ね相互理解を深める。併せて、北東アジアのエネルギー安全保障や地球温暖化防止に資する。北東アジア経済発展国際会議と同時期に開催予定。</p> <p><u>c 各種セミナーの開催</u></p> <p>講演テーマと受講対象に応じて、賛助会セミナー（賛助会員及び一般（有料）に向けて北東アジア関連情報を提供）、地域セミナー（出捐自治体の国際交流に寄与）、ビジネスセミナー（企業を中心に北東アジアのビジネス情報をタイムリーに提供）を計8回程度開催する。</p> <p><u>d 出前授業</u></p> <p>新潟県内の中学生・高校生など若い世代に北東アジアやERINAの活動に関する情報を伝え、北東アジアへの関心を次世代につなげる。</p> <p><u>e その他セミナーの協力</u></p> <p>北東アジアの社会経済動向に関する時宜にかなったセミナー等の開催に協力することにより、ERINAの活動に対する認知度を高める。</p>
<p>C-（4）</p> <p>情報発信高度化のための戦略的事業</p>	<p><u>a 調査研究・経済交流の活動支援</u></p> <p>調査研究、経済交流支援、情報発信の三つの活動を有機的に結合するため、調査研究と経済交流支援のサポート業務を行いながら、リポジトリ登録やオープンアクセスなどを含む情報の蓄積・発信の高度化を図るとともに、有用な調査分析や情報収集活動を両部門に提案する。</p>

	<p>b 人的ネットワークの管理・活用 共同研究員、招聘外国人研究員、経済交流関係者、国際会議参加者など国内外の人的ネットワークを重要な資産として管理するとともに、その人的ネットワークを活かして情報発信力を高める。</p> <p>c 外国人研究員の招聘 外国人研究員の招聘・受け入れ業務を行い、ERINAの国際的な研究ネットワークの拡充をサポートする。</p> <p>d 今後の国際会議環境整備の検討 新たなICTを活用した国際会議運営を目指し、事例研究など現状を把握し、環境整備に向けた検討を行う。</p>
--	---